

環境活動レポート

2023 年度

環境活動期間

(2023 年 1 月 ~ 2023 年 12 月)

エコアクション21



2024 年 1 月 31 日 発行

株式会社 尾鈴建設

【 目 次 】

表 紙	…	1
目 次	…	2
1. 事業概要及び対象範囲	…	3
1) 事業者名及び代表者名		
2) 所在地		
3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当		
4) 事業創立年月日		
5) 事業活動の内容		
6) 対象範囲		
7) 事業規模		
8) 推進組織図		
2. 環境方針	…	4
3. 環境目標	…	5
4. 環境活動計画とその評価	…	6
5. 環境目標の実績	…	7
6. 次年度の取組内容と目標	…	8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	…	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	…	10

1. 事業概要及び対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 尾鈴建設
代表取締役 勢井政俊

2) 所在地

本社 〒884-0006 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江399番地4
資材置き場 〒884-0006 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江399番地4

3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当

EA21責任者 : 総務部 勢井厚子
EA21事務局 : 総務部 園田小百合
連絡担当者 : 勢井厚子
園田小百合

T E L : 0983-23-2233 F A X : 0983-26-1610

E-mail : osuzu@alpha.ocn.ne.jp

4) 事業創立年月日

昭和 48 年 12 月 19 日 [創立より 51 年]

5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、管工事業)

6) 対象範囲

認証登録範囲

・対象組織 …… 本社・資材置場

・対象活動 …… 建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、管工事業)

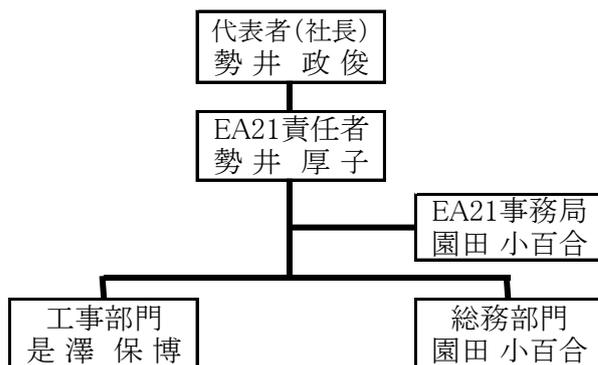
レポート対象期間 令和 5 年 1 月 1 日 ~ 令和 5 年 12 月 31 日

レポート発行日 令和 6 年 1 月 31 日

7) 事業規模

項目	単位	令和2年	令和3年	令和4年
工事件数	件	8	4	4
従業員数	人	9	8	8
床面積	m ²	230.04	230.04	230.04
敷地面積	m ²	1,074	1,074	1,074

8) 推進組織図



2. 環境方針

環境理念

株式会社尾鈴建設は、エコアクション21に取組み、継続的な改善を図りながら地球にやさしい企業を目指し、自然環境を考え循環型社会の構築に貢献します。

環境方針

1. 以下の項目を重点事項として優先的に取組みます。
 - (1) エネルギー資源の消費量の抑制によるCO2削減に努めます。
 - (2) 節水活動による水使用量の抑制に努めます。
 - (3) 一般廃棄物の削減と産業廃棄物のリサイクル化に努めます。
2. 環境関連法規制等の遵守に努めます。
3. 環境に配慮した施工や効率的な施行に努めます。
4. 環境方針を全ての従業員に周知徹底させます。

株式会社 尾鈴建設
代表取締役 勢井政俊

2011年 2月17日 制定
2012年 4月 1日 改定
2023年 5月 1日 改定

3. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下の目標を設定いたしました。
なお目標設定は、2020年1月～2022年12月の3年間の平均値を使用しています。

取組み項目 (目標項目及び単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 (2020年1月～ 2022年12月)	2023年 (2023年1月～ 2023年12月)	2024年 (2024年1月～ 2024年12月)	2025年 (2025年1月～ 2025年12月)	
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	削減率	3年間の平均値	0.1% 削減	0.2% 削減	0.3% 削減	
	全社	47,450.0	47,403.0	47,355.7	47,308.2	
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	7,638.8	7,631.2	7,623.6	7,615.9
	②ガソリン使用量の削減 (ℓ)	全社	2,848.0	2,845.2	2,842.4	2,839.5
	③軽油使用量の削減 (ℓ)	現場	14,424.1	14,409.8	14,395.4	14,381.0
廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減 (kg)	削減率	3年間の平均値	0.1% 削減	0.2% 削減	0.3% 削減	
	事務所	8.6	8.6	8.6	8.6	
②建設副産物のリサイクル率の向上						
(%)	現場	※該当する環境活動計画を順守してリサイクル率95%以上				
水資源使用量の抑制 (節水目標)						
	事務所	※年間目標 : 42m ³ 以下				
環境保全の取組推進 (環境に関する取組) (地域貢献活動)						
	全社	※年間目標 : 5回以上				
環境性能の向上及びサービスの改善 (環境配慮型製品の使用) (研究会への参加)						
	全社	※年間目標 : 3回以上				

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の0.475を使用しました。

4. 環境活動計画と実施状況評価

取組項目		活動内容	評価	活動状況		
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの消灯の徹底	○	不在時の消灯や空調の温度管理等で節電を図ったが、冬場の暖房用と夏場の熱中症対策等でエアコンの稼働がやや増えた為、96.1%の目標未達成となった。		
		②空調温度管理(設定温度遵守)	○			
		③コピー機のオート電源オフ設定	○			
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 (アイドリングストップ、急加速等の禁止)	○		工事件数が基準年より少なかった事と比較的近場の現場が多かった事、及び全社員の省エネ活動などで、179.3%の目標達成となった。	
		②車両管理	○			
		③効率の良い配車(相乗り)	○			
	軽油使用量の削減	①重機や車両の アイドリングストップの徹底	○			重機のアイドリングストップや重機の定期点検等を徹底した事と、基準年に比べて大型重機の稼働が少なかった事などで、195.9%の大幅達成となった。
		②過積載の禁止、現場付近の徐行運転	○			
		③重機の定期点検整備実施	○			
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	①ゴミの分別管理の徹底	○	裏紙使用等でコピー用紙の削減を図りながら徹底した分別で最終処分量(焼却)は、年間で8.7kgと非常に減量出来ている。		
		②廃棄物の計量と記録	○			
		③コピー用紙などの節減 (裏紙の使用等)	○			
	建設副産物廃棄方法の遵守によるリサイクル率の向上(%)	①マニフェストの即時起票	○		今年度は道路改良工事で発生したコンクリート塊とアスコン塊及び木くずのみの発生で、全て再資源化できた。次年度からは、資材発注時の在庫確認や、残材の再利用の推進などに取組む。	
		②すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する (安全パトロールによる確認)	○			
		③排出先(リサイクル業者)の選定と確認	○			
水資源使用量の抑制 (年間水資源総使用量)	①節水シールの表示	○	節水シールで節水意識の高揚を図りながら、出来る限り洗車等は雨水を利用するなどして、105.0%の目標達成となった。			
	②雨水の再利用	○				
	③掃除、洗車の際の節水	○				
環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施・環境に関する取組)	①現場周辺の清掃	○		現場周辺の草刈りや清掃活動、一ツ瀬川沿いや沿道の草刈り・ごみ拾い等、5件の地域貢献活動が出来た。		
	②地域ボランティア活動参加	○				
	③環境に通じる取組	○				
環境性能の向上 及びサービスの改善	①環境に関する研究・講習への参加	○	河川研修会や技士会研修会等の参加、環境対策型重機の使用等を実施した。			
	②環境に配慮した重機等の購入、リース活用	○				
	③環境配慮型工法の採用や提案	○				

1月～12月迄の実施期間中、四半期毎に確認と評価を行う

活動状況の評価 (○:実施している △:充分活動していない ×:実施できていない)

5. 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

- ◇ 環境活動期間 … 2023年 1月 ～ 2023年 12月
- ◇ 基準値 … 2020年 1月 ～ 2022年 12月 3ヶ年の平均値
- ◇ 目標値 … 基準値より 0.1% 削減
- ◇ 排出係数 … 九州電力の 0.475

取組項目		2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率	判定
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		47,403.0 kg-CO ₂	26,431.6 kg-CO ₂	179.3%	○
電気使用量の削減 (kWh)	事務所	7,631.2 kWh	7,943.0 kWh	96.1%	×
ガソリン使用量の削減 (ℓ)	全社	2,845.2 ℓ	1,587.1 ℓ	179.3%	○
軽油使用量の削減 (ℓ)	現場	14,409.8 ℓ	7,355.3 ℓ	195.9%	○
廃棄物の削減					
一般廃棄物の削減 (kg)	事務所	8.6 kg	8.7 kg	98.9%	×
建設副産物のリサイクル率の向上 (%)	現場	95.0%	100.0%	105.3%	○
水資源使用量の抑制	事務所	42.0 m ³	40.0 m ³	105.0%	○
環境保全活動の推進 (環境に関する取組) (地域貢献活動)	全社	5回以上	5回	100.0%	○
環境性能の向上及びサービスの改善 (環境配慮型製品の使用) (研究会への参加)	現場	3回以上	4回	133.3%	○

6. 次年度の取組内容と目標

2024年度 取組内容と目標		
1. 二酸化炭素排出量の削減		
47,355.7 kg-CO ₂		
〔事務所〕 電気使用量の削減 7,623.6 kWh		①不在箇所、昼休みなどの消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③コピー機のオート電源オフ設定
〔全社〕 ガソリン使用量の削減 2,842.4 ℓ		①エコドライブの徹底(アイドリングストップ、急加速等の禁止) ②車両管理 ③効率の良い配車(相乗り)
〔現場〕 軽油使用量の削減 14,395.4 ℓ		①重機や車両のアイドリングストップの徹底 ②過積載の禁止、現場付近の徐行運転 ③重機の定期点検整備実施
2. 廃棄物の削減		
〔事務所〕 一般廃棄物の削減 8.6 kg		①ゴミの分別管理の徹底 ②廃棄物の計量と記録 ③コピー用紙などの節減(裏紙の使用等)
〔現場〕建設副産物廃棄方法の 遵守によるリサイクル率の向上 95.0 %		①資材発注時は在庫の確認を行う ②残余材は分別して持帰り再利用を行う ③排出先(リサイクル業者)の選定と確認
3. 水資源使用量の抑制		
〔事務所〕 42.0 m ³		①節水シールの表示 ②雨水の再利用 ③掃除、洗車の際の節水
4. 環境保全の取組推進		
〔全社〕 5 回以上		①現場周辺の清掃 ②地域ボランティア活動参加
5. 環境性能の向上及びサービスの改善		
〔現場〕 3 回以上		①環境配慮型重機・機器の使用促進 ②出来るだけ騒音、振動、粉塵などを抑制 ③創意工夫による工期短縮の促進

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的にWebや協会情報で確認しています。尚、環境関連法規の遵守状況確認を実施した結果、違反及び監督官庁からの指摘も、地域住民からの訴訟もありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

主な環境関連法規等	当社の遵守事項	評価	備考
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	・廃棄物の削減	○	
	・廃棄物の適正処置の確保	○	
	・産業廃棄物の委託契約	○	
	・産業廃棄物管理票の管理義務	○	
	・3号様式による県知事への報告	○	
騒音規制法	・規制基準の遵守	—	
	・該当する工事の場合は届出と計測実施	—	
振動規制法	・規制基準の遵守	—	
	・該当する工事の場合は届出と計測実施	—	
建設リサイクル法	・分別解体実施義務の遵守	○	
	・再資源化等の実施義務の遵守	○	
	・発注者への報告義務の遵守	○	
オフロード法	・排出ガス適合機器の使用	○	
	・適合シールの貼付と確認	○	
河川法	・該当する工事は河川管理者へ届け出る	—	
各漁業協同組合との覚書	・工事着工前に同意を得る	—	
	・河川を汚濁した場合は速やかに対策を講じると共に組合へ報告する	—	

代表者による全体の評価と見直し結果

対象期間	2023年 1月 1日 ~ 2023年 12月 31日	
見直し日時	2024年 1月 31日	
場所	本社事務所	
参加者	社長：勢井政俊	E A 2 1 責任者：勢井厚子
	土木部：是澤保博	E A 2 1 事務局：園田小百合
評価項目	代表者による評価と指示	
① 環境経営目標達成状況と環境経営計画実施状況	エコアクションの審査に要する日程が長くなり更新が間に合わなくなることに加え、審査の時期が当社の決算時期と重なることから対象期間の見直しを図り、遡って1月～12月を対象期間に設定した。また目標値を再度見直し、二酸化炭素排出量の削減達成率は179.3%となった。	
② 環境関連法規制の遵守状況	業務に関連する法規について遵守状況等を確認。最新の情報について注意を払っているか確認し、情報の共有化を指示した。	
③ 外部からの環境に関する苦情や要望など	苦情に近いものは1件の報告があったが特に問題はなかった。要望等にも対応出来るようゆとりをもって行動をとること。引き続き継続する。	
④ 推進体制	推進体制の役割と教育等について確認した。引き続き現体制で取り組む。	
⑤ 環境経営方針への取組	引き続き継続する。	
⑥ その他、全般	審査員の助言もあり、今年度は管理目標を絞り込むなどして見直しを図り、全員に周知・徹底・指示を行った結果、納得のいく達成率が得られた。	